

平成24年度

湯沢砂防だより

No.14

—砂防講習会を開催しました—

国土交通省 湯沢砂防事務所

9/5(水)に芋川砂防フィールドミュージアム実行委員会と山古志観光協会共催による『砂防講習会』を開催しました。当日は 天気にも恵まれ観光ボランティアガイドや地域の方々約30名が参加されました。

講習会は午前に室内講習、午後は現地を实际見ながら研修を行いました。室内講習会では、実行委員会作成の「ガイドブック」や「3D映像」等を教材に、ガイドや地域の方々が日ごろ目にふれる砂防施設等の役割について理解を深めて頂き、現地研修会では、訪れた方やご家族ご近所の方を現地へ案内・説明する時の見学場所や説明ポイントを確認し、少しでもガイドに役立てて頂けるよう開催しました。

室内講習会



実行委員長 平井長岡造形大名誉教授



山古志観光協会 関会長



ガイドブック講習



3D映像視聴

現地研修会



東川砂防堰堤



寺野砂防施設群



「郷見庵」でちょっと休憩

奥さんから震災のときの状況や移転の時の思いをお聞きしました。ちなみに売れ筋はやはり「かぐらなんぼん」のことでした。



南平ビューポイント



下之沢地すべり施設(集水井)

参加頂いた方々に講習会に対するアンケートを実施しましたので一部ご紹介します。

○いろいろなタイプの砂防堰堤がありどうしてそのようなタイプになったのかが解った。

○芋川の下流の住民として上流の状況に関心を持つ必要を感じました。

また、説明するうえでもっと知っておきたいことなどのご意見も伺いましたので、ガイドブックに反映していきたいと思います。

最後になりますが、暑いなか参加頂いた皆様ご苦労さまでした。

この講習会を通じて、災害に対する備えの一助になればと思います。